

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：伊藤 高

事業名：高規格ICアクセス 一般県道 江戸崎下総線 稲敷東ICアクセス	事業区分	地方道	事業主体	茨城県
起終点：自：茨城県稲敷市桑山 至：茨城県河内町平川			延長	2.7 km
事業概要 一般県道江戸崎下総線は、茨城県稲敷市と千葉県成田市を結ぶ路線であり、圏央道稲敷東インターチェンジへのアクセス道路として、重要な路線である。 狭隘区間の解消を図り、地域の安全性向上に寄与するとともに、圏央道稲敷東インターチェンジへのアクセス向上による地域振興や産業競争力強化を目的とし、稲敷市桑山～河内町平川までの約2.7 kmの現道拡幅整備を行うものである。				
H31 (R1) 年度事業化	-	R3年度用地着手	R3年度工事着手	
全体事業費	約28億円	事業進捗率	約21%	供用済延長
計画交通量	5,600台/日			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 19/25億円 事業費：17/24億円 維持管理費：1.2/1.2億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 33/33億円 走行時間短縮便益：28/28億円 走行経費減少便益：4.3/4.3億円 交通事故減少便益：0.09/0.09億円
	(残事業)	1.7		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.3~1.4 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.7~1.8 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.2~1.4 (事業費±10%) 事業費：B/C=1.6~1.9 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.4 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.7~1.8 (事業期間±20%)				
事業の効果等 ・当路線を整備することにより、円滑な交通が確保され、河内町内の東部地区工業団地へのアクセス性が向上するとともに、圏央道の代替機能も確保されるため、災害時の防災面の強化にも繋がる。 ・稲敷東ICへのアクセス道路であることから、周辺地域の発展に寄与する。				
関係する地方公共団体等の意見 ・沿線自治体で構成される「竜ヶ崎土木協会」等から、本事業の早期完成の要望活動が行われている。				
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。				
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約10%、事業進捗率約21%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、工事を推進していく。				
施設の構造や工法の変更等 土量の過不足について他の公共事業への流用による事業費削減を検討するなどコスト縮減に努める。				
対応方針 事業継続				
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。